

## 開発環境のバージョンアップについて

### 開発環境のバージョンアップ

本書「Kinect for Windows SDK プログラミングガイド」の[1-3]開発環境の構築(pp.13-18)、[1-4]プロジェクトの作成(pp.19-23)では、開発環境を整える方法を説明しています。本書では執筆段階で最新版の開発環境(SDK 及びライブラリ)を利用していますが、新しいバージョンがリリースされるとより最新の環境で開発を始めたいと思うでしょう。

そこで、本文章では最新の SDK 及びライブラリで開発環境を構築する方法を説明します。

### 最新の開発環境

本書の[1-3]、[1-4]では Kinect for Windows SDK 及び Kinect for Developer Toolkit(Face Tracking SDK)、OpenCV について開発環境を構築する方法を説明しています。これらの SDK 及びライブラリは本文書の執筆現在(2013/05/01)では以下のように新しいバージョンがリリースされています。

文章では具体例としてこれらの新しいバージョンに対応する開発環境を構築する方法を説明します。今後、さらに新しいバージョンがリリースされている場合には、本文章を参考に開発環境を構築してください。

### 開発環境の最新バージョンの状況

SDK / Library	本書	現在 (2013/05/01)
Kinect for Windows SDK	1.6	1.7
Kinect for Windows Developer Toolkit	1.6	1.7
OpenCV	2.4.2	2.4.5

## 最新の開発環境の構築

主に本書の記載内容から変更と追加が必要な部分について説明します。本書で記載されているページ数を参考に開発環境の構築を行なってください。変更箇所は赤字になっています。

## 新しいバージョンの変更点

最新の開発環境を構築するまえに、新しいバージョンで開発環境の設定に変更が必要になる部分について把握しておきましょう。本文書の執筆現在(2013/05/01)で各 SDK 及びライブラリの設定に変更が必要になる部分は以下のとおりです。

### ■ Kinect for Windows SDK

Kinect for Windows SDK は変更がありません。

今後のアップデートでは、設定される環境変数やライブラリファイルの名前に変更がないか確認しましょう。

### ■ Kinect for Windows Developer Toolkit

Kinect for Windows Developer Toolkit は環境変数に変更があります。

新たなライブラリが加わったことにより、環境変数 `KINECT_TOOLKIT_DIR` が設定されるようになりました。Compatibility のために旧バージョンの `FTSDK_DIR` が残っていますが、今後は `KINECT_TOOLKIT_DIR` が使われるようになるでしょう。

### ■ OpenCV

OpenCV はライブラリファイルの名前に変更があります。

OpenCV はライブラリファイルの名前にバージョン番号が含まれています。

バージョン番号に合わせて依存ファイルの設定を変更する必要があります。

また、OpenCV のパッケージには各 Visual Studio 向けにビルドされたライブラリが含まれています。Visual Studio のバージョンが変わると、環境変数やライブラリディレクトリの設定を変更する必要があります。

## [1-3] 開発環境の構築

## 環境変数 (p.18)

## Visual Studio 2010 (vc10)

プラットフォーム	変数名	変数値
共通	OPENCV_DIR	C:\Program Files\opencv\build\
Win32	Path	%KINECT_TOOLKIT_DIR%\Redist\x86 %OPENCV_DIR%\x86\vc10\bin %OPENCV_DIR%\common\tbb\ia32\vc10
x64	Path	%KINECT_TOOLKIT_DIR%\Redist\amd64 %OPENCV_DIR%\x64\vc10\bin %OPENCV_DIR%\common\tbb\intel64\vc10

## Visual Studio 2012 (vc11)

プラットフォーム	変数名	変数値
共通	OPENCV_DIR	C:\Program Files\opencv\build\
Win32	Path	%KINECT_TOOLKIT_DIR%\Redist\x86 %OPENCV_DIR%\x86\vc11\bin %OPENCV_DIR%\common\tbb\ia32\vc11
x64	Path	%KINECT_TOOLKIT_DIR%\Redist\amd64 %OPENCV_DIR%\x64\vc11\bin %OPENCV_DIR%\common\tbb\intel64\vc11

## [1-4] プロジェクトの作成

## 追加のインクルード ディレクトリ (p.21)

構成	プラットフォーム	追加のインクルード ディレクトリ
すべての構成 (Debug または Release)	すべてのプラットフォーム (Win32 または x64)	\$(KINECTSDK10_DIR)\inc \$(KINECT_TOOLKIT_DIR)\inc \$(OPENCV_DIR)\include

## 追加のライブラリ ディレクトリ (p.21)

## Visual Studio 2010 (vc10)

構成	プラットフォーム	追加のライブラリ ディレクトリ
すべての構成 (Debug または Release)	Win32	\$(KINECTSDK10_DIR)lib¥x86 \$(KINECT_TOOLKIT_DIR)Lib¥x86 \$(OPENCV_DIR)x86¥vc10¥lib
	x64	\$(KINECTSDK10_DIR)lib¥amd64 \$(KINECT_TOOLKIT_DIR)Lib¥amd64 \$(OPENCV_DIR)x64¥vc10¥lib

### Visual Studio 2012 (vc11)

構成	プラットフォーム	追加のライブラリ ディレクトリ
すべての構成 (Debug または Release)	Win32	\$(KINECTSDK10_DIR)lib¥x86 \$(KINECT_TOOLKIT_DIR)Lib¥x86 \$(OPENCV_DIR)x86¥vc11¥lib
	x64	\$(KINECTSDK10_DIR)lib¥amd64 \$(KINECT_TOOLKIT_DIR)Lib¥amd64 \$(OPENCV_DIR)x64¥vc11¥lib

### 追加の依存ファイル (p.22)

構成	プラットフォーム	追加の依存ファイル
Debug	すべてのプラットフォーム (Win32 または x64)	Kinect10.lib FaceTrackLib.lib opencv_core245d.lib opencv_highgui245d.lib opencv_imgproc245d.lib
Release		Kinect10.lib FaceTrackLib.lib opencv_core245.lib opencv_highgui245.lib opencv_imgproc245.lib

### プロパティシート (p.23)

本書のサンプルプログラムに含まれるプロパティシート「KinectBook.props」を上記の変更に合わせて修正してください。

## アップデートについて

本書で記載しているプログラムは全ての開発環境のバージョンで動作を確認しているわけではありません。また、本文書は最新の開発環境で動作を保証するものではありません。ご了承ください。